

計画の概要

- 石油コンビナート等災害防止法に基づき、石油コンビナート等防災本部が作成する法定計画

【目的】 ✓ 石油コンビナート等特別防災区域（都の場合「東京国際空港地区」）に係る災害の発生及び拡大の防止を図ること
✓ 総合的な防災対策の推進を図り、関係地域住民等の生命、身体及び財産を保護すること

修正の背景・目的

- 航空燃料の安定供給を目的として、燃料供給事業者である三愛オブリ株式会社が、石油タンク4基を既設タンクとは異なる場所に増設予定

- 増設タンクについて防災対策を検討し計画へ反映する必要

✓ 増設タンクに係る災害想定（防災アセスメント調査）を実施し、必要な災害予防・応急対策等を計画へ反映
✓ 既設タンクについても災害想定の基本データを更新し、特別防災区域全体について評価を行い、計画へ反映



増設タンク
(直径25m×高さ23m
容量9,000 k L/基)



既設タンク(10基)

災害想定の結果

令和8年1月幹事会で報告

※ 発生する可能性は極めて小さいが、万一に備えて対策を検討しておくべき災害を想定

- **地震に伴う火災(放射熱)による周辺地域への影響なし**
(増設タンクは設置規模や震度の違いから、火災による放射熱の影響が既設タンクと比べて少ない)
- 増設タンク、既設タンクともに、**津波、高潮による被害等なし**
- 地震等に伴う火災が長期化した場合、気象条件によっては、**周辺地域まで煙や臭気が到達する可能性**

既設タンクと同等以上の防災対策(タンクの耐震性強化、消火設備等の設置 等)に加え、大規模災害を想定した防災訓練の実施や、**煙や臭気が周辺地域へ拡散した場合の避難誘導方法の検討が必要**



主な修正ポイント

第1部 総則

- 増設タンクに係る情報（配置予定図等）を追加

第2部
災害想定の新規

- 平常時、地震時、高潮、大規模事故における評価の実施結果を反映（増設タンク、既設タンク）
- 煙の影響評価の追加実施結果を反映

第3部～第5部
防災対策の新規

- 増設タンクについても既設タンクと同等の防災対策（防災訓練を含む、予防・応急・復旧対策）を実施
- 煙に係る対応（状況に応じた屋内避難等の呼びかけ）を追加

時点更新

- 組織名等の変更（生活文化スポーツ局→生活文化局、東日本電信電話株式会社→NTT東日本株式会社 など）
- 各種データ更新（特定事業所における危険物取扱数量、各機関における防災資機材数量 など）